日刊えっとう
1988 1/1 第8号
第18回釜ヶ崎越冬実
釜日労・でんわ 632-4273

年頭アピール

日帝の戦争準備・天皇攻撃と対決するぞ！被差別大衆・被抑圧民族の解放斗争と団結し差別排外主義をうちくだけ！

釜日労・山谷派遣団を強化し、越冬――春期斗争の大爆発で国粋会―金町一家をたたきつぶそう。

仲間たち！、釜日労からの年頭のあいさつを送ります。昨年秋、皇太子沖縄上陸阻止斗争決起に伴う読谷村での国旗掲揚に反対する人々へのテロルと、焦土作戦の犠牲者の霊をささげる平和祈念像の破壊という天皇主義による許しがたい攻撃があった。また一方、韓国大統領選挙・民主化への韓国人民のウネリを抑えこむべく「大韓機事件」がデッチ上げられ、それに伴い在日朝鮮人女高生らが「北のスパイ朝鮮へ帰れ！」と暴行を受ける事件が頻発している。この状況を眼のアタリにしつつ、思い出すのが五年前の「横浜高令日雇差別虐殺事件」です。この年は、行革攻撃の中で日雇の仕事が落ち込んでアブレ・野宿者がまんえんし本格化した時期であった。その後、円高不況、産業再編の進行の中で全国に失業者はふえつづけ、アブレ野宿もふえつづけ、それとともに行政、官憲、市民へ地域ボスの差別・排除・迫害もキビしくなってきた。

今回越冬においては、内需拡大特別公共事業対策で戦後最高にまで日雇求人がある。そんな中で、とり残された「少い」へ12月30日の野宿者五五〇名が少いのか！」仲間を今こそ救出しようとするのではなく、逆に「少ない」のを？よいことに"無視する" "カタツケテユク"論法がまかり通ろうとしている。その中に含まれた「障害者」の問題、高令者の問題、新労不安定の問題、悪質就労機構の問題などがあえて無視され、ほうむり去られようとしている。

↙ウラへ

「役立たず」「不満分子」は「日本から消えろ」の合唱が大合唱になりつつある中で、オ18回越冬斗争の課題は重大である。

釜ケ崎の全ての仲間たち！越冬斗争に結集した全ての地域、職場、学園の仲間と共に、一歩もひくことなく反撃しよう！いざ斗わん。

越冬斗争に参加に

釜の越冬斗争—工場労働者としてこの自分とつながってゆける場として、どのように感じているのかを、釜の労働者に訴えよう。越冬斗争の中で多くの仲間に出会うことができた。日常生活ではなかなか広がることのない輪ができる。現代社会の中でこんなすばらしい場はなかなかないだろう。しかし、逆にきびしい現実におおいつくされもがいている自分そして釜の労働者。その姿があらわにされるのもこの越冬斗争だろう。

このきびしさの増す現実を見すえ、斗っていきたい。自らが創造しうる自らの生活・文化そして社会を斗いとっていこう。どんなものが斗いとれるのか？今こそ一人一人に問われている。共に斗う仲間として、語り、大論争をまきおこそう。この越冬斗争から世界へ。

越冬を終えると日常へ戻ってゆく。そこでは自分の中に見ついているエネルギーを大切にしながら斗いを展開していきたい。地域の仲間、職場の仲間へ広げてゆくエネルギーへと変えていくつもりである。こんどは自分の地域から・職場から大論争をまき起そう。あちらこちらで火の手を上げていこう。姿の見えにくい敵を照らし出せるまで。そして炎でおおいつくすまでがんばっていこう。

越冬で出会えた仲間のみなさん！ボクはエネルギーを得た。みんなでこのエネルギーを共鳴させようではないか🔥（一工場労働者）

★医療パト報告

北回り	51名
南回り	47名
センター前	65名
三角公園	262名
計	425名

パトロールに対する西成署の暴行・妨害を許さんぞ

正月の予定

一月一日 昼から
- のどじまん
- 衣類の放出
- 卓球大会など

一月二日 10じから
- もちつき大会

その他

一月三日 朝8じ
- ソフトボール大会

※一日・二日は三角公園。
三日はバス「勝利号」で移動。

日刊えっとう　1988 1/2 第9号
第18回釜ケ崎越冬斗争実
でんわ(632)4273　釜日労

越冬斗争集中期、仲間うちの団結を強めポリの介入を許すな

本日 団結もちつき大会（あさ10じ〜三角公園）

しし舞い　バンド演奏　他…

仲間たち！

12月29、30、31日の3日間、越年対策ー南港りん泊への押し込みと斗争が行なわれた。

越冬実医療班、支援は団結し、市当局に"希望者全員を入れろ"、"差別選別をするな"とつめより悪らつな西成署の妨害、イヤガラせをはねのけ88名の入院、入寮、入所を斗いとった。

600人以内（毎日新聞発表）に押えこもうともくろむ市当局はその野望をくだかれ、766名の仲間（うち入院20名）が越年対策施設に入った。

だが、当所発表した1300名予定を大はばに下回り、病弱、高令や「障害者」の仲間を死のふちにおいやっているのが大阪市当局だ。

釜ケ崎地区内では年間5000回をこえる救急の患者（行路病人）が出ており—つまり、5000人をこえる仲間が働くことができずにいるのだ！そのうち10%の仲間が、のたれ死という形で行政に殺されているのだ！

また、救急患者は、地区内をはじめとする民間のボッタクリ病院（大和中央、杏林など）の言いなりとなっている市当局は、ハイエナ病院、施設のゼニもうけ＝薬づけ、検査づけを知っていて知らん顔をしているのだ。だから、あの木島病院ならワイロをもらい、病院の"手配師"になっていた西成区役所の役人が出てくるのだ！

今年の越冬期の病気の特徴は、結核がふえているのにオドロク。つづいて、肝硬変、高血圧と、重病の仲間が多い。無理をして飯場で…と思うのは気持はわかるけれど、まず自らの"体調"病名を知ることだ！今年は少しあたたかいけど、急に冷えこむとガクッとくる。

現場では、建設独占資本と病気の時は悪徳病院資本とまた日常ではポリとの斗いにそなえ体をきたえておこう。

連帯アピール

釜の仲間の皆さん！ 私は釜ケ崎越冬斗争を支援する女性労仂者です。この誌面をとおして私たち女性労仂者の声を皆さんに訴えかけていきたいと思います。

私たち女性は「家庭責任」を強いられます。単身であれば自分でするはずの炊事、せんたく、そうじ等が所帯もちであれば、たとえ相手が仂いていようとも女性の方に負わされてしまうのが大半です。こうした炊事せんたく、そうじ、更には、寝たり、起きたり、メシ食ったりという労仂力を再生産する過程というのは、それぞれの労仂者だけでなく、労仂力を労仂力として買うために、資本にとっても必要な過程としてあります。それが、一手に女性の個人的責任としてその肩に任わされるのです。そのために、女性の仂く場は、"結婚前の腰かけ仕事""出産時の退職""育児後の再就職"と、寸断され、中途半端なモノへと限らざるを得ません。そして、これを盾にとって、雇う側は安い賃金で使いたい時だけ使い、あとは何の保障もなく切りすてていくという方法で、私たちを最大限、彼らの利潤追求のために利用しているのです。そして、これこそが、多くの女性をして一人でメシを食っていけないモノとして、"家内へ""男に飼われるしか生きる術のないモノへ"と追いやっているのです。

日雇という不安定な労仂形態の中で、アオカンを強いられ、果ては、野垂れ死にさえ余儀なくされうる位置におかれた仲間の命を仲間の団結の力で守り、行政や建設資本、権力を追いつめる斗いへとおし進める越冬斗争に対して私たちはこうした不安定な労仂形態を強いられ、一労仂者として生きる权をうばわれ続けてきた者として、熱く連帯し、ともに斗っていきたい気持ちでいっぱいです！

〔医療活動報告〕（1/1）

受診	20
入院	1
通院	19

（市更相相談は、休みのため、なし）

〔医療パト報告〕（1/1）

北	63
南	51
センター	119
三角公園	195
計	428

スケジュール

本日夕方5じ半〜 映画「フーテンの寅」（三角公園）

明日（三日）あさ8じ ソフトボール大会（医療センター下）
夕方5じ半〜 映画「ゆんたんざ沖縄」

四日 あさ8じ 対大阪市抗議行動

七日 よる6じ〜 越冬学習会（市民館）「仕事・行政・新空港」

八日 よる6じ〜 越冬学習会（市民館）「釜ケ崎ゲタオチ病院」

日刊えっとう 1988 1/3 第10号
第18回釜ヶ崎越冬斗争実
でんわ(632)4273 釜日労

元旦ナンバ、2日梅田、人民パトロールを貫徹!!

本日

あさ8じ ソフトボール大会（医療センター下に集合）

よる6じ 映画「ゆんたんざ沖縄」（三角公園）

仲間たち!!

今越冬斗争も、仲間をシノギや差別しゅうげきからまもり、越冬公園への結集をよびかける人民パトロールを、多くの仲間の参加でやりぬいてきた。

大晦日の31日には、天王寺駅周辺と四天王寺でアオカンする仲間に呼びかけるパトロールをおこない、元旦の1日には、ナンバと南海線のガードぞいへパトロールをくり出した。

けいさつ・行政・地域ボスがいったいになった「ワリーー作戦」によって、多くの仲間がアオカンをしいられている。人民パトロールは、仲間自身の手で仲間に呼びかけ、シノギや差別しゅうげきを威圧し、許さないのが目的だ。

いよいよ、きのうは梅田へパトロール隊は進出した。その数三五〇名、大阪駅周辺、阪神地下でアオカンしている仲間をはげまして歩いた。

ポリ公どもは、阪急東通り商店街の入口にカマボコ4台、JR大阪駅西口にカマボコ2台を配備して、昨越冬での1.3梅田人民パト十名弾圧を再現しようとしたが、わしらの整然としたパトロールのまえに、一指も手をふれることができなかった。

いよいよ、きょうは人民パトロールに出るのは、さいごの日だ。今晩もよる8じから人民パトロールをやりぬき、あすはあさから、対大阪市・殺人行政糾弾の抗議デモに打って出よう!!

きのうのパトロールでも、1名の仲間に救急車をよび、五～六名の仲間がともに三角公園にパトロール隊に合流してかえってきた。

人民パトの成果をふまえ、越冬斗争をやりぬこう!!

もちつき大会大盛況!!

2日、三角公園でのもちつき大会が行なわれ、のべ千名もの仲間が集まり、二俵のもち米をつきあげた。あたたかなったこともありシャツ一枚で汗ダクになってついていた仲間もかなりおおかった。

ついたもちは、ゼンザイにしたり、アベカワにしたり……うでっぷしの強い仲間には、おもわず拍手があがったりしていた。

また夕方からの、8映画、フーテンの寅さん上映も、三角公園の舞台前にギッシリと約六〇〇名の仲間が楽しんだ。今越冬斗争は釜ケ崎地区内に住んでいるオバチャンや小供たちも例年になく多く参加し、共に斗っている。このままあたたかで、仕事が出るとなあー。いや油断はきんもつだ。いつ寒さがぶり返すかわからないので十分気をつけておこう!

〔医療パト報告〕(1/2)

北	49
南	51
センター	106
三角公園	250
計	456
(天王寺)	38
(四天王寺)	42

日雇全協各支部よりの報告(1)

〔笹島〕笹島日雇労組

笹日労は、12月25日より、オケラ公園にテントを設営。臨泊斗争も勝利したとのことだ。また、労働争議も三件解決した。アオカン者は例年より少なく公園に七〇名平均だ。越冬突入時、右翼が街宣カーでイヤガラセにきたという報告も入った。名古屋も一月十日まで越冬を斗う。

〔山谷〕釜日労山谷派遣団

山谷では、12月28日より越冬に突入。金町一家との斗いもポリの金町ようごと新拠点を黙認という形でその連合が山谷労働者の前でより一層はっきりした。連日、百五〇名でワッショイデモを斗い、玉姫公園と山谷労働センターを拠点に斗っている。釜派遣団はみんな元気で先頭で斗っているぞ!

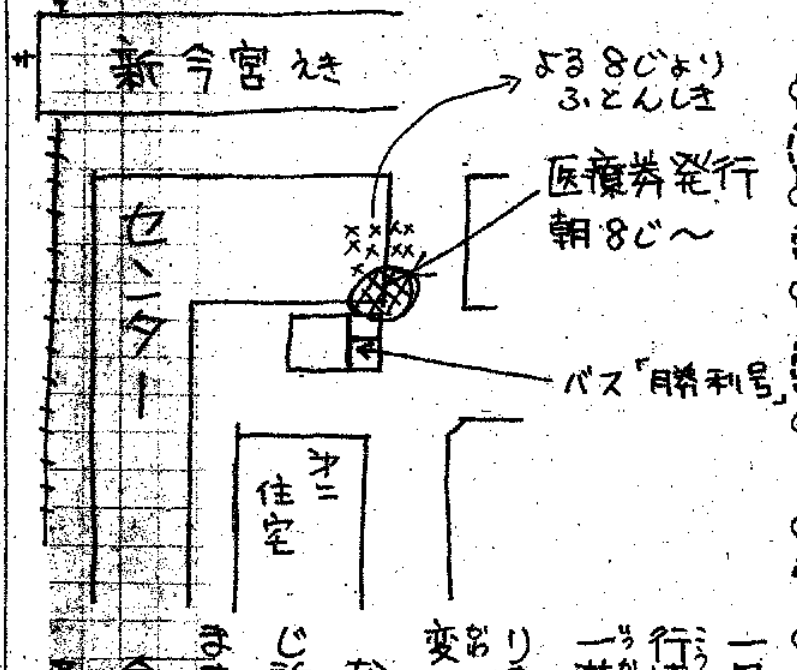
―隊長より―

〔医療活動報告〕(1/2)

受診	30
通院	25
入院	3

一月四日からは、医療券発行は、朝8じからセンター一階の医療センター前になります。正月休みで時間が変ったりしていました。

なお、夜8じになると同じ所で布団しきをやっています。



今日は日曜日で医療券はありません。

日刊えっとう 1988 1/4 第11号
第18回釜ヶ崎越冬実
でんわ(632)4273釜日労

12.29～1.3集中期、三角公園拠点闘争を貫徹

ポリ公の妨害うち破り、対大阪市抗議デモに打ってでよう

あさ8じセンター出発、三角公園⇒市庁舎

仲間たち!!

新年があけて、きょうからセンターもひらいた。わしらは、12月29日から今朝まで、三角公園を拠点に、殺人行政糾弾の集会、映画会、えっとうまつりをおこない、連日二五〇から三五〇名の仲間の結集で、地区内、日本橋・新世界・天王寺・四天王寺・ナンバ・梅田への人民パトロールを斗い、三角公園での炊き出し・野営で、仲間のいのちを仲間の団結でまもってきた。

本日より越冬拠点を医療センター下に一本化し、労働問題を中心に、八八春期斗争を切りひらく越冬第三期の斗いに突入する。

その節目が、きょうの対大阪市抗議デモだ!!

大阪市は、ことし、越年臨泊の定員が千三百人あるにもかかわらず、わずかに七五〇名しか入寮・入所させず、去年よりも二百人も切りすててきたのだ。

結果、正月期にアオカンをしいられた仲間は、地区内だけでも四五〇人前後と、例年とかわらない数にのぼらされ、三角公園で炊き出しをかこみながら野営をせざるをえなかったのだ。

仲間たち!!

第三期のセンターを拠点とした、悪質「業者」一掃の斗いを、12月の大久組・福本組斗争をひきついで斗いぬいていくまえに、ぜったいに大阪市にアオカンの責任をとらせなければならない。これがきょうの斗いの意味だ!!

きょうからアブレ賃のある仲間も、手帳を出して、デモに結集してともに斗おう。アオカンの問題、殺人行政の問題は、わしら全体の問題だ!! 年をとればかならずぶち当たる問題だ!!

きょうのデモをやりぬき、越冬第三期をきりひらこう!!

抗議・要求書

西尾正也大阪市長殿

一九八八年一月四日

記

大阪市は、今越年対策において、私達第十八回釜ヶ崎越冬斗争実行委員会の要求と逆行し、越年臨泊保護数を、昨年より二百名も下回わる約七五〇名に切り縮めた。

この結果、正月期間中、私達の医療パトロール集計では、釜ヶ崎地区内、浪速区・天王寺区だけでも六百名、市内総計では千名をこえる仲間が野宿を強いられている。

私達越冬実の寝床には、毎夜二百名から三百名をこえる高齢者や身体の弱い仲間が、暖冬とはいえ、冬の夜をしのいでいる。

このような実態は、ひとつには、対策千三百名を「公称」しつつも、申込者の三割以上を却下したことの結果であり、またひとつには、過去の越年対策のやり方によってあらかじめあきらめさせられている、市内野宿者除外方針の結果である。

「仕事が沢山でているから、今年は希望者全員、また市内の野宿者も入れるようにする」というのが、民生行政として当たり前の論理ではないか。それとは逆に「野宿者が多少少なくなる」予測をよいことに、切り縮める姿勢は、実は高齢であるとか、色々な身体的「障害」をもっている者でも、建設土木の重労働か、一日中歩き回っても五百円、千円に満たない資源回収労働しかないという労働実態が、野宿を強制したという事実を敢えて無視し、「役立たずは死ね」という方針を合理化するものである。

公共事業に日雇として徴用しつつ、使い古した高齢者、また仕事で身体を痛めた「障害者」に対策を講じるのではなく、棄民・抹殺していくという行政の姿勢が、今回あまりにも露骨に示された。

私達釜ヶ崎労働者は、このような大阪市・その他地方自治体、そして[redacted]現政府の労働者使い殺し政策を断固糾弾する。

そして、重労働のできなくなった高齢者と身体「障害者」の就労対策と、福祉対策に速やかに取り組むことを要求し、まず、以下に述べる三点について、この場で確認することをもとめる。

一、現在、南港、自彊館、一時保護所、その他施設、およびすべての病院にいる、すべての高齢者・「障害者」、その他建設土木労働に耐えられない労働者の保護を、就労、その他生活対策が講じられるまで継続すること。

一、現時点より、ただちに、今年四月から七月の四箇月間のアブレ期への「特別就労・福祉対策」を準備すること。

一、市内野宿の高齢者・「障害者」対策施設と「公称」する新施設なるもののプランを我々に明示し、四月一日までに実現すること。

以上

第十八回釜ヶ崎越冬斗争実行委員会

（代表、山田実）㊞

釜ヶ崎日雇労働組合

今日から、布団しきは、よる8じから、

今日から、医療相談は、あさ8じ～9じ半（医療センター下）

〔医療相談報告〕（1/3）

受診	21
通院	19
入院	2

〔医療パト報告〕（1/3）

北	50
南	60
センター	99
三角公園	220
計	429
（日本橋）	135

釜日労に結集（けっしゅう）し、悪質（あくしつ）「業者（ぎょうしゃ）」一掃（いっそう）春期斗争（しゅんきとうそう）を準備（じゅんび）しよう!!

日刊えっとう 1988 1/5 第12号 第18回釜ヶ崎越冬闘争実行委 でんわ(632)4273 釜日労

対大阪市抗議デモをやり抜いたぞ!!

越冬第三期の闘いで、88春期闘争を準備しよう

仲間たち!!
きのうは、越冬闘争の集中期のしめくくりとして、対大阪市抗議デモに、百三〇名の隊列で決起した。
まずセンターをあさ7じに出発、8じ半に隊列をととのえて、淀屋橋の大阪市庁舎までのデモに出発した。
「殺人行政粉砕!」「臨泊縮小をゆるさんぞ!」「大阪市はアオカンの責任をとれ!」「ポリ公の妨害をゆるさんぞ!」のシュプレヒコールが釜ヶ崎一帯をゆるがし銀座通りをぬけて、恵美須町の交差点から堺筋にうって出る。道ゆく労働者・市民に越冬闘争への支援をうったえるビラをくばり、きょうのデモの意味を伝える。
ポリ公は、デモ隊のうしろに指揮車・カマボコ3台をつけ、四つ角ごとに機動隊を配備して、妨害をこころみるが、わしらの力強い闘いに押されて、守勢にまわらざるをえない。

本町をすぎたあたりで雨がふりだしたが、一歩もひるまずデモは大阪市庁を目指す。
いよいよ大阪市庁だ。市の役人どもは、例年のごとく入口にガードマン、私服機動隊をおいて、わしらの要求をふみにじろうとする。
しかし、わしらの闘いによって要求書を受けとらざるをえず、わしらは対大阪市抗議デモを貫徹して、帰途についた。

仲間たち!!
いよいよ越冬闘争第三期の闘いだ。集中期の三角公園を拠点とした闘い、人民パトロール、対大阪市抗議デモをうち抜いた力で、センターを拠点に、悪質業者「一掃」の闘いをおしすすめよう。
12月、大久組(東海)、福本組(静岡)闘争をひきついで、八八春期闘争を準備しよう!!
越冬闘争を貫徹してやりぬこう!!

日刊えっとう

1988 1/6 第13号
第18回釜ヶ崎越冬斗争実行委員会
でんわ(632)4273 釜日労

センターを拠点に、春期闘争の準備をすすめよう

今日から、11日まで労仂相談は、

あさ5じ～6じ半 センター机出し
あさ8じ～9じ半 医療センター下
あさ10じ～
よる6じ 解放会館2階

仲間たち!! センターもひらいてことしは仕事の出がはやい。どんどん仕事にいって、業者の動きをつかみ、組合に知らせてほしい。

労仂相談を集中するなかで、センターを拠点に、八八春期斗争の準備を具体的にすすめていこう。

（労仂班）

〔警備班より〕

ことしの正月は例年になくあたたかく、アオカンしている仲間にも、何となくまだゆったりしたふんいきがあったように感じられた。自慢じゃないが、今年のたき出しの具も多かったし、味つけも良かったように思う。

さて、越冬期の警備班は、ふとんしきをやって、そこに寝るアオカンの仲間を、一晩じゅう防衛し、事故がないようにするのが役目だ。集中期の29日から3日までは、三角公園と医療センター前の二つに分かれてやるため、警備の人間もそれだけ多くいるわけだ。ともにやってくれた支援の仲間に感謝する。

もっともっとわしら日雇いががんばって「仲間のいのちを仲間でまもる」越冬をつよめていきたいと思う。

仲間たち!! 年末年始や四月から七月のアブレ期にアブレをよぎなくされたり、また体をこわしたり、年をとって仂けなくなった仲間のアオカンに対する斗いは、日雇いであるわしら全体の問題だ。日雇いだから、常に野垂れ死と背中あわせにさせられていることを肝に命じ、ともに団結して斗いぬいていこう!

〔医療活動報告〕(1/5)

受診	26
通院	8
市更相	18
入寮	4
入院	3
却下	11

おわび

組合のファックス不調のため、医療パトロール報告は、1日おくれになります。

〝人柱〟の新空港を許さんぞ！　その(1)

関西新空港の工事は遅れに遅れている。その打開策として、「夜間工事」を認め、あわせて、労働基準法も改悪された。これは、わしら日雇労働者を二十四時間こき使い、労災事故、海難事故などの多発を全て、〝人命〟でとりもどそうとする許し難いものである。

今でも航行するジャリ運搬船や小型漁船がてんぷくし、多くの人間の命を奪っている。それだけではない！一日、二十四時間のうち昼も夜も区別なく、八時間の賃金(たとえば釜ケ崎では九〇〇〇円)を払えば、真夜中の八時間も同じという。このような〝まさに日雇殺し〟が第一級の軍事空港である泉州の関西新空港なのである。きのうの新聞には、アジア人の出稼ぎ労働者の記事が一面トップに書いてあった。韓国やフイリピンなどの〝安い賃金労働者〟自国と日本をくらべても労働者を雇えば、建設費が安くなる↑これはウソ八百なのだが、そういう宣伝もふくめて日雇労働・土木建設業に働く五百万人をこえる労働者の賃金を切り下げ、条件を切り下げ、よりピンハネの額を独占資本などもうけようとしているのだ！戦前、今の大林や大成や竹中などの建設独占資本は〝タコ部屋〟で労働者をシボり切り、ブチ殺し、ボロもうけた。ヤツらはその再現と〝戦争〟によるボロもうけをたくらんでいるのだ！GNP(国民総生産)の一%のワクを突破した軍事費のもくろみもここにある。

仲間たち！全国最大の〝寄せ場〟釜ケ崎は今、斗う仲間たちから最も注目されている。人間の生血を吸って肥え太っている資本家どもと国家権力に対し、一歩も下がることなく、仲間うちの団結を強め、労働の中で、生活の中で一切の不利益を認めない！体を張って斗うという日雇の伝統をうけついでいこうではないか！

88年は、わしらにとって大きくふみだす年だ！

越冬斗争を斗い切り、いざ春闘斗争へ、隊列を整えよう!!

たくさんの支援・連帯の年賀状がありました。

一部紹介いたします。

☆沖縄で斗っておられる　大城昌夫氏

☆在日高齢労働者連盟

☆京都・柳本労働組合

☆富山、日本カーバイト労働組合

☆全金西成地域合同労働組合

☆名古屋で指紋押捺を拒否している　金南燮さん

医療パトロール報告(1/4)

北回り	53名
南回り	44名
センター前	159名
地区内合計	256名
アベノ西天王寺駅	37名
四天王寺	67名

医療券発行(1/4)

受給者	16名
通院	8名
入院	2名
単泊	2名
入院決定者	2名

日刊えっとう　1988 1/7 第14号
第18回釜ヶ崎越冬斗争実行委　でんわ（632）4273 釜日労

本日よる6じ〜 越冬学習会

'88年の釜ヶ崎×仕事・行政・新空港

市民館にあつまろう!!

仲間たち!!

「ことしの越冬斗争は、「野宿・野たれ死・差別攻撃と対決し、階級的労仂運動の前進をかちとれ!!」をスローガンに、労仂運動の右より化、現代の「産業報国会」化と対決できる、わしら日雇いの労仂運動をつくり上げるために斗ってきた。

越冬の突入集会では、きょ年6〜7月の韓国の労仂者・民衆の反独裁・民主化の斗いをえがいた「八八年夏・韓国民衆抗争」、3日の大晦日には、山谷での天皇主義右翼・国粋会金町一家との、わしら寄せ場の斗いをえがいた「山谷―やられたらやりかえせ!」、1日には、中国人民の革命戦争の映画「紅岩―不屈の人々」、3日には、沖縄の仲間の息吹を伝える、「ゆんたんざ沖縄」を上映してきた。

仲間たちは、これらの映画の中で、多くのことを感じたと思う。いま世界が、日本が、そしてわしらの寄せ場がどうなってきているのかと。

そして、きょうと明日は、正月にやってきた映画などでの学習の締めくくりだ。

はたして今年は、釜ヶ崎はどうなるのか？去年は仕事はけっこうあったが、ことしはどうか。四〜七月のアブレ期はどうなるだろうか。行政の福祉切りすてはどうなのか。関西新空港と、わしらの関係はどうなのか。いろいろな疑問があると思う。

きょうの学習会は、こうしたわしらの疑問をもちよって、越冬実・釜日労から問題提起をしながら、いろいろと話しあって、団結をふかめていきたい。

ぜひとも、よる6じ、市民館3かいに、あつまってほしい。

明日は、「釜ヶ崎のケタオチ病院について」です。

日刊えっとう

1988 1/8 第15号
第18回釜ヶ崎越冬闘争実行委
でんわ (632) 4273 釜日労

今日 よる6じ〜 越冬学習会 第2回

「これでも病院か?!」 市民館

釜ヶ崎ケタオチ病院、バクロ集会

仲間のみなさん!!とくに、釜病棟と呼ばれているケタオチ、悪質病院で入院したことのある仲間は、あつまって実態をバクロし合おう!!

国家権力者どもは、わしらをコキ使うだけコキ使って大手資本をもうけさせ、ケガ、病気でたおれたあとは、病院資本・福祉をもうけさせ、野たれ死、病院内の抹殺攻撃で殺されたあとは、人体実験に使われて、本当に骨のズイまで利用される。

過酷な重労働、不安定な生活をしいられているわしらが、ケガ・病気のときに十分な看護・治療・福祉を受けて当然である。

しかし、じっさいにわしらが入れられる病院は、大和中央病院であり、阪和病院であり、そして超ケタオチ〝木島病院〟等である。ポリ公・福祉行政・病院の、ゆ着の中でふりまわされ、検査づけ・薬づけで、からだをよりボロボロにされる

これらの病院に入院したことのある仲間は、どんどんあつまって、事実をはなしあい、悪徳ケタオチ病院糾弾闘争を、ともに展開しよう!!

きのうの学習会

「これからの釜ヶ崎」

百名の仲間の熱気で市民館が埋まる。

報告をしてくれた、「泉州沖に空港をつくらせない住民連絡会」「沖縄日雇労働組合」の仲間、どうもありがとう。

よる8じ、医療センター下の布団しきのときに、炊き出しをやっています。

〔医療相談報告〕
(1/7)

受診			19
	通院		4
	相談		15
		入寮	3
		入院	3
		却下	9

越冬斗争も終盤!!

元気な仲間は仕事に行き、体の悪い仲間は医療相談でからだを治していこう!!

仲間たち!!
越冬斗争もいよいよ、十日の日曜の晩で、医療センター前のフトン・しきを終える。
ことしは年あけから仕事の出は早い。元気な仲間は、どんどん仕事にいって、八八春斗にむけて、各「業者」の動きを知らせていただきたい。

からだを悪くしている仲間は、あさ八じから九じ半の医療相談にいって診さつをうけ、入院、入寮をかちとって、はやく仕事に復帰して、斗えるようにがんばろう!!
越冬が終わってから、寒さはもっともっときびしくなってくる。殺人行政の野たれ死攻撃と斗ってからだを治していこう!!

〔医療パト報告〕(1/5)

北	39
南	64
センター	141
計	244
(日本橋)	146

〔医療パト報告〕(1/6)

北	40
南	71
センター	127
計	238
(天王寺)	33
(四天王寺)	37

〔医療活動報告〕(1/6)

受診	16
通院	5
市更相	11
入院	7
入寮	1
却下	3

[redacted]

天皇・日の丸攻撃に抗し、国際主義の赤旗を守りぬけ

昨八七年は、日本帝国主義・自民党政府による戦争準備・天皇、日の丸攻撃がはげしく吹きあれた。
九月ヒロノミヤ、十月天皇ヒロヒトの名代として皇太子アキヒト、十一月アキヒトとつづく天皇一族の沖縄訪問は、沖縄の仲間をふたたび天皇制のクビキにつなぎ、ヤマトへの同化を強制し、日米両軍の基地を強制するものだった。

しかし、沖縄の仲間たちは、この天皇、日の丸攻撃のあらしに対して、ソフトボール会場の日の丸を引きずりおろした知花昌一氏の決起や、沖日労の斗い等として、敢然と立ち向かった。
天皇制が強化されるとき、それは他民族に対する差別と排外主義がふきあれる。そして、これは山谷の斗いや、アオカンする仲間への一昨年の5・11天皇植樹祭のときの排除・カリコミなどとして、わしら日雇いへも向かってくる。
ことしは、天皇の死ぬ「Xデー」が近い。団結をかため、国際主義の労働者魂で斗いぬこう!!

日刊えっとう

1988 1.19 才16号
才18回釜ヶ崎越冬斗争実行委
でんわ(632)4273 釜日労

越冬斗争もあと2日、

病気・ケガの仲間は医療相談へ

あさ8じ〜9じ半、医療センター下の机

仲間たち!!越冬斗争も、のこすところ、あと2日となった。

医療相談は、きょうと十一日の月よう日、医療センター下でのフトンは、今晩とあしたの晩の、それぞれ2日間だけだ。

ことしは、正月あけから仕事の出がはやい。まだ、飯場が主だが、来週からは現金もどんどん出てくるだろう。元気な仲間は仕事にいって、各「業者」の動きをつかもう。今年度は、やはり例年になく仕事は多いから、有利な状況をいかして、春期斗争をやりぬき、単価きり下げ・飯場諸経ヒボッタクリの悪質「業者」を一掃していく必要がある。

悪質「業者」一掃の現場ー飯場斗争を、センターを出撃拠点にたたかいー、わしらをふたたび、韓国やアジアへの侵略戦争のための「人柱」にしていこうとする、関西新空港などの反動的な国策事業とたたかっていこう!!

わしらは、からだは売っても心は売らない。労仂者魂で、真紅の赤旗をかかげて、アジアの仲間と団結して、彼らをふみつけにして、わしらと分断し、少しばかりのアメとひきかえに、わしらを独占資本と人夫出し・手配師・国家権力のクビキにつなぎ、強制労仂へかりたてる、国策事業と対決していこう。

仲間たち!!こうした春期の斗いをやりぬくためにも、病気・ケガの仲間は、はやくからだをなおして、仕事に斗いに復帰していこう。

たしかに、殺人行政・大阪市の窓口である市更相の対応は、差別的・侮辱的だ。しかし、これに屈せず、入寮・入院をかちとるためにがんばることも斗いであり、独占資本のためにガタガタにされたからだを、行政になおさせていく斗いだ。

病気・ケガの仲間は、きょうと月よう日、医療相談にどんどんいこう!!

(医療活動報告)
(1,8)

受診	15
通院	5
相談	10
入寮	2
入院	4
却下	4

ケタオチ病院バクロ学習会

多くの仲間の発言に盛り上がる!

きのう、越冬学習会の才2弾として、「これでも病院か?!釜病棟バクロ集会」をやった。

才1弾に引きつづき、会場をうめつくす百名余の仲間が結集し、病院の悪徳・ケタオチぶりが言い争われた。

ほとんど同じ〝釜病棟〟とよばれている病院での無暴ぶり、いい加減な治療、えらそうな態度によるいぶり出しなどが、体験的事実として出てきた。

しかし、一部に、入院させてもらえるだけでもよいという、誤った意見も出たが、わしらは、経済の安全弁としての使いすて自由な労働者として、不安定な生活と重労働を強いられているのだ。

ケガ・病気をしたとき、きっとうな治療・福祉を受けるのは当然の権利であることを肝に命じ、今後の病院・行政斗争をともに展開していこう!!

(医療班)

〔医療パト報告〕(1/8)

北	47
南	48
センター	147
計	242

〔医療パト報告〕(1/7)

北	43
南	47
センター	137
計	227
(天王寺)	88
(日本橋)	120

労働戦線の「産業報国会」化に

全民労連と対決していこう。

昨年の11月20日、全日本民間労働組合連合会が、55組合の五五五万人をあつめ、日本最大の労働組合として設立された。

これにともなって、同盟と中立労連はすでに解散し、総評も90年には解散するとしている。

それでは、全民労連とは何なのか。

それは、ひとことでいって、帝国主義・独占資本のお先棒をかついで、わしら日本の労働者を、アジアへの侵略戦争にかり出すための道具だ。

全民労連の結成が、天皇万才・自衛隊容認・韓国の軍事独裁政権支持・原発推進という反動的な同盟の主導でつくられ、韓国やフィリピンで民主化斗争に敵対し、民主労組を弾圧している国際自由労連に加盟したことを見れば、その本質はあきらかだ。

そして、わしら日雇いなど、未組織の下層労働者を切りすて、その斗いに、権力とともに敵対してくるとともに、ロコツに差別と排外主義を煽動する奴らが牛耳っている。

仲間たち!!わしらは総評-民同(西成分会)の改良主義・日和見主義とけつ別して、釜共斗を結成し、釜日労に引きついで斗ってきた伝統をまもり、階級的労働運動で全民労連をうち砕こう!

日刊えっとう
1988 1/10 才17号
才18回釜ケ崎越冬斗争実行委
でんわ（632）4273釜日労

センターを拠点に、越冬斗争から春期斗争につきすすもう

医療センター下のテントは今晩、医療相談は月よう・11日で終了です。（ただし、医療相談は、2月いっぱい、毎週金ように続けます。）

仲間たち!!

いよいよ寒さが本格的になってきた。この時期に越冬斗争をおえるのは、心苦しいが、年があけ、年度末の仕事の増大期における、春期斗争を準備するために、今晩から、あすの昼にかけて、越冬斗争を終結する。

ことしは、もう現金求人も出はじめている。今週からは、もっともっと出てくるだろう。この有利な状態をいかして、春期斗争へつきすすんでいかなければならない。

昨年の八七春斗では、最低単価九〇〇〇円、飯場諸経ヒ（メシ代、個室代、衛生ヒなどいっさいふくめて）千八〇〇円以内をかちとったが、カゲにかくれて九〇〇〇円にたっしない単価で手配しているやから「メシ代千八〇〇円」と称して、個室代、衛生ヒをうわのせして、二三〇〇〜二五〇〇円以上もボッタクるやからも出ている。

また、仕事のいそがしさにかこつけて、体の調子がわるくても休ませない、少しぐらいのケガなら現場に出させるという、強制労働まがいのことをやられたという、相談もき始めている。

わしらは、仕事の多い時期を武器にして、センターを拠点に現場―飯場斗争を、12月大久組、福本組（初島）斗争のように展開し、悪質「業者」を一掃して、飯場強制労働をやらせない斗いをやりぬいていこう!

労災もみ消し、暴力事件、単価切り下げ、条件違反など、どんどん泣きねいりせずに、釜日労に相談にきてほしい。団結して斗えば、かならずかちとれる。

労働者の真紅の赤旗をかかげて、ポリ公の妨害をはねのけ、悪質「業者」一掃の八八春斗の準備をすすめよう!

越冬に参加した子ども達の声(1)

こどもの里のこどもたちの声を紹介します。一つ一つの出来事に出会って、いろんな事を感じとっていきます。こどもたちもまた、社会から差別されています。労働者のおじさんたちの心に接して、自分たちの生き方に何かを残し、力強く生きてくれると思っています。人が人として生きられるよう、これからも共に闘っていきたいです。（こどもの里）

A．人民パトに参加して

人民パトロールに参加して、思ったことは、こどもの里でパトロールしたのとぜんぜんちがう。人民パトロールに参加してる人は大人ばっかりやったから、行動がすごかった。

日本橋へ向かうとき、ポリ公が後ろからと横からとついて来た。

そして、歩道橋のところまで行ったら、急に機が私達をとりかこんだ。

みんなは、声をはり上げ、機に文句をゆうていたので、私も負けずに文句を言った。

私は「神さまが見てるぞぇ」とか「神さまは、あんたらをみちびいてくれへんでぇ」とか、「お前らそれでも人間か」などと叫んだ。

機の奴らがカメラで写真をとったり、ライトをむけたりするので、めちゃむかついて、「写真ができたらちょうだい」とか「もっとかわいくうつして」ってみんなでおちょくってた。

三角公園へ行って、おみそ汁やおにぎりを配った時、ポリ公は、かえってた。

へんな奴らやなー。（中学3年）

〔医療パト報告〕(1/9)	
北	30
南	46
センター	137
計	214

医療パトをやってきて（マドンナ）

数年、医療パトロールで歩いているが、今年は〝ほえる〟元気もなく倒れているおっちゃんが多い。

〝弱ってきてんだなあ〟阪堺線のガードにそったかん木にライトを照らし、ボロぶとんをたしかめる時、胸がいたい。

あるにいちゃんが「釜の救急車は、オレらを粗大ゴミと思うとんとちがうか。ポンポンほうり込みよる」と怒っていたが、われらの（命の救急車）リヤカーでは、そーと運んでるぞ。

数年前、越冬実の仲間が「リヤカーの車輪に手がまき込まれるかもしれんから、リヤカー押してゆけや」と言うたのが忘れられん。「リヤカー引いたら荷物やけど、人を運んでんだから、見ながら押していった方がいいでー」と言えるようになった。

働くおっちゃんたち、命大事にしてや。もうすぐ春だぜ!!

〔医療相談報告〕(1/9)	
受診	16
通院	9
相談	7
(相談せず)	3
入寮	4
入院	0
却下	2

本日は医療相談は、休みです。